

第 793 回 新潟医学会例会(オンライン講演会)

第 793 回新潟医学会・オンライン講演会を下記の要領によって開催致しますのでご案内申し上げます。

大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎します。参加料は無料です。

ZOOM URL については新潟医学会事務局にメールでお問い合わせください。

日 時 令和 7 年 4 月 17 日 (木) 18:00 から

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (18:00~18:30) 座長 松井 秀彰 先生 (脳病態解析 教授)

「進化生物学のフロンティアから進化脳病態学へ」

吉田 恒太 先生
(システム脳病態学・進化脳病態 特任教授)

「種の起源」発表から 165 年、進化生物学は様々な発展を遂げてきた。特に、過去 20 年間のゲノム解析や遺伝操作手法の革新は、進化生物学を単に理論を議論する学問から、データにもとづいて進化の原因因子を同定する学問へと昇華させた。その新しい手法を用いれば、ヒトのもつ病気が存在する進化的原因因子の研究、すなわち「病気の起源」を追究できる。本発表では最先端の進化生物学的手法を概観し、どのようにその手法が進化脳病態学へと応用できるのかを紹介する。

II. 特別講演 (18:30~19:00) 座長 細貝 亮介 先生 (小児科学 助教)

「小児がん診療の進歩」

今村 勝 先生 (小児科学 准教授)

検査、治療法などの進歩により小児がんの長期生存率は約 80%にまで改善しているが、晩期合併症などの新たな問題も生じている。生存率の向上を図りつつ、晩期合併症のリスクを減らすための治療が求められている。近年、CAR-T 療法などの免疫療法が小児領域でも行われているが課題も多い。課題克服のために行ってきた演者の NK 細胞を用いた研究および神経芽腫を中心とした新潟県内の小児がん診療について紹介する。

III. 特別講演 (19:00~19:30) 座長 外山 聡 先生 (薬剤部 教授)

「液体クロマトグラフィー質量分析を用いたターゲットメタボロミクスによる医学系研究への応用」

金光 祥臣 先生 (薬剤部学 准教授)

生体内代謝物の包括的分析手法を指すメタボロミクスは、医学や生物学における表現型解析として活用されている。液体クロマトグラフィー質量分析を用いて高感度かつ高精度な定量値を得るためには研究目的に合わせたターゲットメタボロミクス分析が有用である。本講演では、これまでに演者が構築した様々な分析系とその応用により、慢性腎臓病の新規バイオマーカーや新規治療薬候補探索に繋がった研究を紹介する。また、プロテオミクスとの融合研究のアプローチについても紹介したい。

IV. 特別講演 (19:30~20:00) 座長 馬場 晃弘 先生 (医学科総合診療学 特任講師)

「【新潟方式】総合診療医育成コース」

上村 顕也 先生 (地域医療人材育成 教授)

新潟大学医学部では令和 3 年から厚生労働省の「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」の「【新潟方式】総合診療医育成コース」で、総合診療医を育成する取り組みを進めている。本講演では、5 年目を迎えるこの取り組み内容を紹介する。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大 学 院 特 別 講 義

(連絡先) 新潟医学会事務局

TEL 025-227-2032

e-mail igakukai@med.niigata-u.ac.jp